



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年10月28日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社Minorityソリューションズ
コード番号 3822 URL <http://www.minori-sol.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 北村 正人
問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長 (氏名) 藤田 壮太
四半期報告書提出予定日 平成28年11月10日 配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

TEL 03-3345-0601
平成28年11月28日

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	7,640	9.1	615	40.9	630	38.9	429	45.6
28年3月期第2四半期	7,000	8.8	436	4.6	453	5.3	295	7.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	48.88	—
28年3月期第2四半期	33.58	—

当社は、平成27年8月1日を効力発生日として、株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。このため、1株当たり四半期純利益は、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	8,739		6,179			70.7
28年3月期	8,375		5,876			70.2

(参考)自己資本 29年3月期第2四半期 6,179百万円 28年3月期 5,876百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	14.00	—	15.00	29.00
29年3月期	—	14.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	14.00	28.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

平成28年3月期の第2四半期末配当金14円には東京証券取引所市場第二部への市場変更記念配当金3円が、同期期末配当金15円には同取引所市場第一部指定記念配当金3円が含まれております。

3. 平成29年3月期の業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,200	2.9	1,150	8.7	1,150	6.6	740	5.3	84.19

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期2Q	8,790,000 株	28年3月期	8,790,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

29年3月期2Q	756 株	28年3月期	756 株
----------	-------	--------	-------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	8,789,244 株	28年3月期2Q	8,789,244 株
----------	-------------	----------	-------------

当社は、平成27年8月1日を効力発生日として、株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。このため、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

業績予想については、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

業績予想に関する注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算説明会内容の入手方法)

当社は、平成28年11月14日(月)に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会の資料については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期における我が国経済は、雇用情勢や一部の企業収益に改善は見られるものの、円高による輸出低迷や個人消費の停滞、新興国市場の景気減速等、先行きは不透明な状況で推移しました。

情報サービス業界においては、クラウドやビッグデータ、IoT等の技術の企業活動への活用ニーズが拡大しつつあり、ユーザー企業における競争力強化のためのシステム更改や、新ビジネスモデル構築のための新たなシステム開発等の設備投資ニーズと相まって、IT投資・需要は堅調に推移しました。一方で、マイナス金利の影響による金融機関の今後のIT投資動向は予断を許さない状況となっております。

このような状況の下、当社は、既存顧客における業務領域の拡大や新規顧客の開拓、およびサービスの付加価値向上のため、提案力の強化、業務品質および生産性の向上、技術者の確保・育成等の施策を進めました。また、戦略分野であるCAE(Computer Aided Engineering)事業や、ERP(Enterprise Resource Planning)ソリューション事業、クラウドを活用したIT基盤導入ソリューション等の拡大にも引き続き注力しております。

この結果、当第2四半期累計期間における経営成績は、金融業におけるシステム統合・更改案件、新規ビジネス構築のためのシステム開発案件、製造業向けの基幹システム更改案件といったソフトウェア開発事業が順調に推移し、売上高は7,640百万円(前年同四半期比9.1%増)、営業利益は615百万円(前年同四半期比40.9%増)、経常利益は630百万円(前年同四半期比38.9%増)、当期純利益は429百万円(前年同四半期比45.6%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産は7,965,851千円となり、前事業年度末に比べ434,075千円増加いたしました。これは主に現金及び預金が481,954千円増加したことによるものであります。固定資産は773,723千円となり、前事業年度末に比べ70,294千円減少いたしました。これは主に投資その他の資産のその他のうち保険積立金が74,050千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は8,739,574千円となり、前事業年度末に比べ363,780千円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債は2,033,097千円となり、前事業年度末に比べ34,035千円増加いたしました。これは主に賞与引当金が33,333千円、未払法人税等が18,045千円それぞれ増加した一方、買掛金が25,388千円減少したことによるものであります。固定負債は527,134千円となり、前事業年度末に比べ26,798千円増加いたしました。これは主に退職給付引当金が33,787千円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は2,560,231千円となり、前事業年度末に比べ60,834千円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は6,179,343千円となり、前事業年度末に比べ302,946千円増加いたしました。これは主に利益剰余金が297,800千円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は、70.7%(前事業年度末は70.2%)となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、「平成28年3月期決算短信」で公表いたしました通期の業績予想から変更しておりません。

当第2四半期の業績は順調に推移しましたが、当社の主要取引先である金融機関におけるマイナス金利の影響や、製造業における為替の影響、その他エンドユーザー各社における投資サイクルの影響等により、第3四半期以降の案件動向の不透明感が強くなってきていること等を鑑み、通期予想は据え置きとしております。

業績見通し等将来に関しましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。今後開示基準に該当する変化が生じた場合には速やかにお知らせいたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第2四半期累計期間において、四半期財務諸表への影響額は軽微であります。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,070,585	5,552,539
受取手形及び売掛金	2,186,030	2,050,284
仕掛品	71,517	156,782
その他	204,517	207,065
貸倒引当金	△875	△822
流動資産合計	7,531,776	7,965,851
固定資産		
有形固定資産	111,973	120,210
無形固定資産	71,092	60,712
投資その他の資産		
投資有価証券	262,224	271,089
その他	424,247	347,231
貸倒引当金	△25,521	△25,521
投資その他の資産合計	660,951	592,800
固定資産合計	844,018	773,723
資産合計	8,375,794	8,739,574
負債の部		
流動負債		
買掛金	577,977	552,589
短期借入金	500,000	500,000
未払法人税等	238,045	256,091
賞与引当金	253,332	286,665
その他	429,706	437,751
流動負債合計	1,999,061	2,033,097
固定負債		
退職給付引当金	477,066	510,853
その他	23,269	16,280
固定負債合計	500,335	527,134
負債合計	2,499,397	2,560,231
純資産の部		
株主資本		
資本金	750,000	750,000
資本剰余金	1,196,550	1,196,550
利益剰余金	3,827,695	4,125,495
自己株式	△268	△268
株主資本合計	5,773,976	6,071,777
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	102,420	107,566
評価・換算差額等合計	102,420	107,566
純資産合計	5,876,397	6,179,343
負債純資産合計	8,375,794	8,739,574

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	7,000,001	7,640,044
売上原価	5,982,113	6,446,865
売上総利益	1,017,888	1,193,179
販売費及び一般管理費	580,936	577,307
営業利益	436,951	615,871
営業外収益		
受取利息	3,352	109
受取配当金	4,525	3,607
保険配当金	5,901	10,141
その他	4,830	6,358
営業外収益合計	18,608	20,216
営業外費用		
支払利息	1,814	1,295
保険解約損	—	4,583
その他	21	19
営業外費用合計	1,836	5,899
経常利益	453,723	630,189
税引前四半期純利益	453,723	630,189
法人税、住民税及び事業税	167,206	213,852
法人税等調整額	△8,661	△13,301
法人税等合計	158,544	200,550
四半期純利益	295,178	429,638

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。